

立 山



第80号 発行所 富山県造園業組合連合会青年部
編集・広報部 事務局 〒933-0911 高岡市あわら町16-16 村本 徹

TEL 0766-23-9964
FAX 0766-23-9985

仕事も遊びも

本気でです!!

僕達
青年部



ご卒業おめでとうございます。

『長い間お世話になりました。』

富山中部支部 源 哲弘



私が造園青年部の仲間に加えていただいたのは、かれこれ十六年前ほどになります。会社勤めをやめて、何も知らない父親の自営する造園業界に足を踏み入れ一年ぐらいたってからでしょうか。当時は、父親と自分と親戚の伯父さんの三人の作業員でした。



私の加えていただいた富山西部では、当時いつも五〜六人ぐらいの参加が主で、いつも定例会での作業に、最近の作業についての段取りとか現場での悩み相談などで、僕的には非常に馴染み深い集まりでした。

二年ほどしたとき、支部長の大役が回ってきて、それ以来県内の若手の造園業者の皆様ともお会いできる機会が増え、直接仕事にプラスになることも出てまいりました。公共事業に指名願いをい出していただいたのも、青年部が大きなきっかけだったと思います。

青年部の中では、大してお役には立てなかつたけれども、一度企画部長にさせていただきました。福光での野面積講習会や、先輩作成お庭拝見は、思い出深いものがあります。

ここ近年は、他会での忙しさにかまけ出席が悪く、支部長さんをはじめ役員の方にご迷惑をおかけしていましたが、僕にとっての青年部は、今の自社を見つめなおし、切り替えをしてゆく上で、なくてはならない存在でもあり、すぐく落ち込んだときの心の安らぎの場でもありました。

今年度を持ちまして、卒業させていただきますけど、これからの厳しい経済状態であっても、青年部が皆様にとって成長の場であつて、心のよりどころであり続けますことを、お願いして、益々の繁栄をご祈念いたします。長い間お世話になりました。

三つの誘い オブ 浜名湖 花博研修

富山西部支部 広地 正広



9月25日から二日間、青年部で浜名湖花博へ行ってきました。私はこの旅行で三つの世界を経験しました。一つ目、摩訶耶寺庭園にて、築山と池、そこに石を配置した庭が幽玄の世界へと私を誘いました。



二つ目、花博モネの庭にて、モネの絵が現実に広がり、幻想の世界へと私を引き込みました。三つ目、夜の繁華街にて、先輩方に連れられ初めて桃源の世界が私を包み込みました。この三つの世界は二度と忘れられないでしょう。

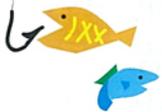
沖釣り大会を終えて

射水支部 森田 知彦



9月5日、新湊にて沖釣り大会が行われました。当日の天気は、あいにくの雨で、とても良いコンディションとはいえませんでしたが、たくさんの方が参加されました。私自身は、釣りの経験はほとんどなく最初は魚が釣れるかとても心配でした。また船に乗ったのも初めてだったので船酔いも心配でした。船に乗ると初めは少し気分が悪くなりましたがそのうち慣れてきて、楽になりました。何とか魚も釣ることができ、とても楽しい釣り大会だったと思います。今回は、

天候がとても悪かったので、次にまた機会があれば、天気の良い日に釣りができればいいなと思います。



『花博』

小矢部支部 吉田 篤司



この度（6月5日～6月6日）と、小矢部市造園組合で企画された「花博研修旅行」に行ってきました。幅広く奥行きのある花博会場のその中央には、クルーザーが行き交っており、次々入場してくる来客を運搬する為の水路が設けられていて、外周の通路にも（フロラムーバ）と呼ばれているモーター自動車が大勢の来客を送迎するべく配備されていました。会場にはさまざまな庭園や植物園が立ちならび、広場や花壇、花市場まで各種パビリオンが設けられていました。そのすべての施設を限られた時間内に網羅しつくす事などとても不可能でしたので、会場内に入場する前に、あらかじめ行きたい箇所をピックアップしなければいけません。まず『造園連出展庭園』を優先的に見に行く事にしたのですが、なにしろ広大な会場内をやみくもに、何の予備知識もないまま徘徊していたものでは、目的の庭園に到着するまでにカラにした缶ビールの本数は5本を超えていました。時節がら日差しが強く、浜名湖周辺の蒸し暑さと、帰宅した後の足のだるさが印象に残った研修旅行でした。

この度（6月5日～6月6日）と、小矢部市造園組合で企画された「花博研修旅行」に行ってきました。幅広く奥行きのある花博会場のその中央には、クルーザーが行き交っており、次々入場してくる来客を運搬する為の水路が設けられていて、外周の通路にも（フロラムーバ）と呼ばれているモーター自動車が大勢の来客を送迎するべく配備されていました。会場にはさまざまな庭園や植物園が立ちならび、広場や花壇、花市場まで各種パビリオンが設けられていました。そのすべての施設を限られた時間内に網羅しつくす事などとても不可能でしたので、会場内に入場する前に、あらかじめ行きたい箇所をピックアップしなければいけません。まず『造園連出展庭園』を優先的に見に行く事にしたのですが、なにしろ広大な会場内をやみくもに、何の予備知識もないまま徘徊していたものでは、目的の庭園に到着するまでにカラにした缶ビールの本数は5本を超えていました。時節がら日差しが強く、浜名湖周辺の蒸し暑さと、帰宅した後の足のだるさが印象に残った研修旅行でした。

平成十六年度 技能検定予備講習会を終えて

射水支部 浦上吉史

去る8月12日。当青年部主行事であります技能検定予備講習会が行われました。学科講習の講師を例年青年部から選出しておりましたが、今年は青年部OBであります金岡氏にお願いしました。講義は金岡氏が昨年試験を受けられたその時の出題傾向、受講者に分かりやすいようにと近くの公園における事例などを話され有意義な学科講習会となりました。また要素試験の講習では、関野、愛場、西野、柴崎の4名に各社の土場、公園などから厳選した技を採取してきてもらったおかげで、受講者からも大変好評でありました。今年の受講生は試験の受験資格の緩和もあり、80名余りと会場の広さに準じて1、2級のみ講習会となりました。

よって3級の受験者には講習会に参加してもらうことができませんでした。来年も受講者が増加することが考えられ、次の課題であるろうと思われ



技能奉仕をして

中新川支部 柳瀬芳智

11月13日に中新川支部は、支部長の土肥さんを筆頭に黒部市の黒部学園にて技能奉仕を行いました。その内容は黒松の剪定とカイズカイブ



キの垣根の刈り込みなどで、約四時間作業しました。天候は、支部員の日頃の行いなのか？前日の雨も止みすばらしい天候に恵まれて作業できました。

作業中は真剣に、時には道具の話しながら、わきあいあいと楽しくできました。毎回参加させていただいています。一人仕事の多い自分にはすぐ新鮮でプラスになる半日だったとおもいます。これからも出来るだけ参加したいです。

富山中部支部 関野隆之

富山支部では、10月30日(土)午後1時からルンビ二園にて技能奉仕活動を行いました。台風処理等忙しい中、部員10名の協力を得て作業を終了することが出来ました。

作業終了後、慰労会を行い今後の支部活動として技能奉仕以外に『継続的に出来る何か？』を決め積極的に行動しよう話し合いました。意義のある活動が出来るようがんばっていきましょう。



高岡支部 野原隆志

10月16日、高峰公園。今年も無事、技能奉仕を終えることが出来ました。毎年の事ですが、私はこの技能奉仕という行事はとても大事な事だと思います。まず、青年部のメンバーみんなで一つのことをやり遂げると言うことはなかなかあるものではありません。これにより全体のいい意味での団結力が得られると思います。そして、みんなの剪定をみることににより自分の剪定の技術の幅も広がると思います。もちろん社会に貢献できることが何より素晴らしいことと言うまでもありません。これから、大事にしていききたい行事の一つだと私は思っています。



高岡支部 朴木勇人

去る10月16日、私は、青年部に入ってから初めての奉仕活動に参加させていただきました。初めての奉仕活動ということもあり少し緊張しながら高峰公園へ向かいました。公園に着くと先輩方がいらっしやって、「ごころうさん」と温かく笑顔でむかえてくれました。

先輩方は手が速く、作業は順調に進みました。作業が終わりふと公園にある銅像が気になり、家に帰り調べてみることにしました。高峰譲吉という方で、一八五四年越中高岡に生まれ理化学研究所の創設に尽力、官を辞して渡米中、タカージアスターゼ・アドレナリンなどを発見された方だそうです。数々の業績を残された高峰さんのように私も皆さんの心の安らぐ、和む庭を残していきたいと思っています。



砺波支部 竹内健悟

10月16日に日頃よりお世話になっている高岡支部の皆さん方と高峰公園にて剪定奉仕に参加させて頂きました。

定例会などではいつも顔を合わせているものの、一緒に仕事をする機会は私にとって年に一度の事なので、大変楽しみにしております。今回も皆さんと御一緒させて頂き、あらためて「自分は職人の世界にはいったのだな」と感じました。

技能奉仕を終えて、自分も他の方に負けないよう努力しようと思いました。



南砺支部 石村良成

南砺支部の技能奉仕活動は7月18日、昨年南砺造園組合三十周年記念事業として行った福野園芸植物園内作庭の中に茶筌垣を作るという南砺親組合様の技能講習を兼ねて合同で行いました。講師は、雅環境造形の河合社長にお願いして、茶筌垣の由来や使う材料の選別、作業順序などの説明を受けてから作業に入りました。まずは茶筌垣に使う松明を参加部員一人一本ずつ作るという作業から始めました。自分自身この竹垣



は見たことのあるのですが、作る事に関しては、全くの初心者で、実際作って見ると、とても手間ひまがかかりました。でもそれだけに達成感と面白さがありました。また他の参加部員も個人の技術向上の為、疑問に思ったことを講師に聞くなど積極的に取り組む姿勢が見られ大変刺激をうけました。こういう、あまり作る機会のない竹垣の講習を受けることができ、講師の河合社長また南砺親組合様には、感謝しています。参加人数も青年部8人中7人と忙しい時期にしては、よく集まり今後も南砺青年部員、切磋琢磨し技術の向上を目指して頑張っていきたいと思えます。

小矢部支部 石川智育

小矢部支部では、奉仕活動として毎年、クロスランドおやべ近くの松沢保育所と慰霊碑の剪定を行なっています。今年は8月13日に行ないました。保育所の剪定では、先生に「あの木も剪定してもらえない？」と言われたり、又、子供達も珍しそうに近づいて見に来てくれたりしています。暑くて大変ですが、すっきりした庭木を見ると先生方にも喜んでいただき、すがすがしい気分になれます。以前、自分達の親から、小矢部・福岡すべての保育所及び幼稚園の防除を多年において活動し、大変喜ばれたと聞いています。これからも、親子代々、奉仕活動を続けて行きたいと思えます。





『志朗の部屋』

部長 伊藤 志朗



広報部長のMから再三電話がかかってくる。「部長、原稿まだですか？」何を書こうか色々考えてはみるものの、なかなか思い浮かばない。また、電話がかかってきた。「部長の挨拶欄を『志朗の部屋』にします。堅苦しく考えないで何でも書いてください。」

この一年間の活動の中で、最も印象に残っているのは、なんとと言っても沖釣り大会です。子供の頃、父に連れられ、朝早くキス釣りに出掛けたこと、平日の夕方、四方港に連れて行かれたこと等を懐かしく思い出しました。皆さんの中にも、釣りにしつかりハマって、その後毎週のように海に出掛けた人がいたとか…。

ただ、青年部本来の目的とも言える、「技術技能の切磋琢磨」という点では、今年の活動は、水琴窟講習会くらいでしたから、来期に向け修正したい点です。

そんな中、新川支部が主催し、堀田泰介氏らを講師に招いて行った竹垣講習会は、金太郎温泉の桂垣見学も含め、大変勉強になるものでした。

今後も多く先輩方のいろんな考え方、技

術に積極的に触れ、学ぶ機会を作っていきたいですよ。例えば、A氏の技術とB氏の技術技能が違うのは当然の事で、そんないろんな考え方や技術の中から、自分が「これだっ！」と思うものを身に付けてゆけばよいと思います。

さて、富山の青年部が発足して、来年で満三十年を迎えます。そろそろ、記念式典・イベントの大枠を考えなければならぬところです。が、その前にもうひとつ大きなイベントを控えています。

そうです。青年部全国大会・総会の富山開催です。平成十七年六月十日の開催が決定し、現在、西尾君を頭とした実行委員会で、具体的な内容を練っている段階です。

富山と富山県青年部をアピールする絶好の機会です。全国の青年部員に喜んでもらえるよう、みんなの力で頑張りましょう。

余興や二次会も非常に重要なファクターです。皆さんの知恵や経験、人脈をフルに活用して下さるようお願いいたします。余興の出し物の候補にゴスペル(ゴスペルって何?)とか、ハンドベルとか、相撲体操とかが上がっています。どんなことをやるのかよく分かっています。

ませんが、面白そうです。みんなで作ってみる?

今年は台風や地震など自然災害の多い年でした。クマの異常出沒も自然災害の一種と言えるかも知れません。来年はこのような甚大な被害の無い平穏な一年になることを願って、第一回『志朗の部屋』は終了します。





★中新川支部 細川英治

子供の名前 和彦(かずひこ)
 生年月日 H16年7月25日生
 性別 男(第1子)
 子供に向けて一言

多くの人に祝福され、生を受けました。人に慕われ、痛みの分かる、心の優しい人になってほしいと思います。
 ※和は妻の名前の一字をとって、彦は美男子という意味があるそうです。彦は名前負けしないように…。

★南砺支部 石村良成

子供の名前 香篤(きょうあ)
 生年月日 H16年10月1日生
 性別 男
 子供に向けて一言
 イチローみたく親孝行して、御殿を作ってください!!

★富山西部支部 道嶋浩二

子供の名前 優衣(ゆい)
 生年月日 H16年10月15日生
 性別 女(第2子)
 子供に向けて一言

すくすく育て、そして玉の輿にのるんだ!!

★富山西部支部 山崎健一

子供の名前 麻央(まお)
 生年月日 H16年7月22日生
 性別 女(第1子)
 子供に向けて一言
 やさしく、すこやかに育ててほしい。

★小矢部支部 石川智育

子供の名前 凌(りょう)
 生年月日 H16年11月24日生
 性別 男(第1子)
 身長 50.5 cm
 体重 3140 g
 子供に向けて一言
 元気で素直に成長してほしいです。

新入部員紹介

- ① 生年月日・年齢
- ② 会社名
- ③ 趣味
- ④ ラッキーカラー・アイテム
- ⑤ 一言コメント



澤谷 健 (中新川支部)

- ① 24歳
- ② 榊澤谷造園
- ③ バスケットボール他 スポーツ全般
- ④ 赤・バイク
- ⑤ 「未熟者ですが、よろしくお願いします。」

盛田 武志 (富山中部)

- ① 30歳
- ② 盛田造園
- ③ スポーツすべて
- ④ 赤・女
- ⑤ 「がんばる！」

編集後記

平成16年もあと少し、何とか皆様の御手元に「立山・秋冬号」をお届けでき、ホッとしております。又、来年も皆様のとんでもない活躍を心から期待しております。

(村本 徹・野上一志)